（社）京都府情報産業協会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　作成：6/5,文責：古川

第１回地域情報化委員会　議事録

■ 開催日時 平成１４年６月４日15:00～18:00
■ 開催場所 (社)京都府情報産業協会　事務室（京都コンピュータ学院駅前校１Ｆ）
■ 出席状況 １１名

アステック㈱	安達	㈱ゼロワン	上野
㈱京信システムサービス	山本	㈱総合システムサービス	古川
京都電子計算㈱	駒井	宝ネッワークシステム	小林
けいしんシステムリサーチ㈱	藤原	日本コンピューターファシリティ㈱	土井
㈱ケーケーシー情報システム	小林	バンテック㈱	馬場
㈱島津ビジネスシステムズ	直江		

■ 議事
１）会員間の自己紹介
２）地域情報化委員会の１４年度活動予定
３）地域情報化委員会主催の会員セミナー
４）IT産業調査の工程概要
５）「京都ONE構想」の概要及び取組方

■ 議事内容
１）１４年度の活動予定
２月の議事録をベースに１４年度の活動は以下であることを再確認する。
①会員セミナーを開催。年度当初に実行しなければならない。
②IT産業調査の実施。　補助金も確定したので年度内に調査及び報告書作成は必須作業である。
③京都ONE構想との連携。３月総会で基盤協加入の承認がされ手続き完了。現時点状況を京都市から説明を受け対応していく。
２）会員セミナー
SBSの直江部長で進めていただいている。：７月上旬、講師は日本IBMの取締役クラスを予定。
比較的元気なIBMから今後の技術動向（会員各位のビジネスの方向性決定への一助）の分析
及びIBMの戦略を説明していただく。セミナーの対象者はIT業界の経営者又は幹部クラスを想定。
３）IT産業調査の工程概要
・正式に補助金がOKとなり京都産業２１からの作業依頼となる。
報告書には京情協も連記で付与はOKである。
・小林副委員長より考慮している作業及び年間工程が説明される。
・雑多な作業は出来る限り外部にお願いする構造を考慮し、委員会には以下の作業分担を依頼。
①アンケートの回収率が悪い時（目標２０％）は回収の為に市内を分担して廻る可能性がある。
②アンケートの集計が完了段階で結果に基づき各種意見（思い等）を議論し報告書集約への材料を提供する。
③報告書（案）を読み各種意見を出すことで報告書の充実に寄与する。
４）「京都ONE構想」との連携
・京都市の情報政策課の課長補佐：中村氏及び竹田氏より京都ONE構想及びトピックス情報の説明を４０分程度受けた後各種質問及びどう動くか等の意見交換を実施する。
・京情協の会員若しくは会員が参加するコンソーシアムが京都ONE構想が実現しているインフラ：「地域IX」、「IDC」を最大限活用したコンテンツやASPサービスの提供者になる事を期待。
・現環境下では補助金を付けることは出来ないが、考慮される事業に関する各種支援協力はする。
電子自治体は京都市自身が顧客なので担当部局との橋渡しは実施する。
・京情協は非営利団体なので事務局としてボランティア的に活動し、会員の商売に寄与できる情報を流す役目を考慮していることを理解して戴いた。
・強力な推進母体（予算を付けたのでこのASPを作成依頼）は存在していない。京都ONE構想のインフラを最大限活用するビジネスモデルを考え自らが推進する事が必要である。
・次回の事務局会合には地域情報化委員会も呼んでいただくことが了解される。（２名参加可）
５）その他
特別な召集が無い限り２ヶ月に一度委員会を開催する。
次回：８月６日（火）15:00～17:00　場所：京都コンピュータ学院駅前校の事務局